ぜんせき THE ZENSEKI

第7791号　月・水・金発行（祝日除く）　組合員 月1,728円 組合員外 月1,944円（消費税込）

3月5日（月曜日）　2018年（平成30年）

発行所 全国石油商業組合連合会
東京都千代田区永田町2-17-14
電話 03-3593-5751
http://www.zensekiren.or.jp
昭和38年7月1日第3種郵便物認可 振替口座00130-4-52707

ぜんせきweb版　登録受付け中！
新規のご登録の手続きは
下記ウェブサイトでできます
http://zensekiweb.com

ステージ2対応SS認定制度を創設

愛称〝イーアス〟自主的取組推進

環境省・エネ庁

環境省と資源エネルギー庁は2日、「大気環境配慮型SS認定制度」を創設したと発表した。ガソリン給油時に発生する揮発性有機化合物（VOC）を回収するベーパーリカバリー装置付き計量機（ステージ2対応機）を設置したSSを回収率に応じ4段階のランクで「大気環境配慮型SS」（愛称e→AS：イーアス）として認定し、認定証とロゴマークを交付、SS名、所在地、認定ランクをホームページで公表する。これによりステージ2対応SSの普及を促進し、大気環境の保全を図ることを目的にしている。

昨年5月、環境省中央環境審議会で「今後の自動車排出ガス低減対策のあり方」が取りまとめられ、給油時の燃料蒸発ガス低減対策はSS業界の自主的な取り組みで推進することが決まった。これを受け全石連は自主的取組計画を策定、2000年度比で24年度までにVOC排出量を3割削減することを目指すことになった。

認定制度では、環境省・エネ庁の大気環境配慮型SS普及推進事務局がステージ2対応計量機を導入したSSを「大気環境配慮型SS」（愛称e→AS：イーアス）として認定し、広く公表する。

認定基準はSS全体の燃料蒸発ガス回収率に応じてS、A、B、Cの各ランクに分けられ、制度施行前にステージ2対応計量機を導入したSSも対象となる。

イーアスはeco（エコ）、いい（良い）、Air（大気）とSSを意味し、「いいearth」の「いい明日」、「いいえあす」の意味を込めて表現、地球に向かうという矢印「↓」をつけた。認定されたSSはロゴマークを使用し、環境対応に取り組むSSとしてアピールすることができる。環境省では大気環境配慮型SS認定を目指して普及に努め、カーナビでも表示できるようメーカーと調整している。

今夏には認定申請受付を開始する予定で、4～6月まで環境省がステージ2対応計量機の評価測定を行ったうえで、e→ASのランクに反映することになる。

新連載スタート

年度末と年度が近づいてきた。SSもスタッフの異動や季節商品の入れ替えなどが重なる時期。店頭でのトラブル防止に努める意識高揚を図りたい。今春も本紙で好評企画となっている佐藤哲治氏（ジャパンリスクソリューション主席コンサルタント＝写真）による新連載『SSにおける「支払い」に関するトラブル14事例』への対応を紹介する（次回からは2面で随時掲載）。

連載 1

SSにおける「支払い」に関するトラブル14事例

講師 佐藤 哲治 氏（ジャパンリスクソリューション 主席コンサルタント）

プロローグ

万一に役立つ「14の解法」

SSでは代金や料金の支払い時に様々なトラブルが発生します。トラブルの原因がSSにあるものもあれば、お客様の錯誤や過大要求、時には不正によるものもあります。

今回の連載では14の事例を紹介しますが、そのうちの幾つかは店長なら過去に出くわしているかも知れません。

金銭的トラブルは解決に多大な時間と心労が伴います。とは言え、SSでは未然に防止策を講じることのできない事例もあります。

筆者として対応方法を提言しますが、必ずしもそれが正解というわけではありません。対策の参考にしていただければ幸いです。

紹介する事例は以下の通りです。

①ガソリン代の不払い（入れ逃げ）
②「財布を忘れた。後から払いに来る」
③「ガソリン代をA社と同じにしろ」
④給油し終わって伝票を渡したら「こんな高いガソリン代は払えない」
⑤「地域最安値というからタイヤを買ったのに…」
⑥外車パーツを注文し、取り寄せたら「もう要らないよ」
⑦法定費用をもらわずに車検を通したら「金がない」
⑧「洗い残しがあったのだから手洗い洗車代を半分にしろ」
⑨「精算機に1万円入れたのにお釣りが少ない」「キャンセルしたのにお札が戻らない」
⑩「精算機の釣銭を取り忘れた」
⑪ご主人のカードを奥様が使ったことで…
⑫FCカードを渡し間違えてしまった
⑬「このカードが使えないわけがない」
⑭これは偽造カード？

論説

5日正午ころから「1時間あたり10㌢くらいの感じで積もっていった」ことに対応し、フィールド内の除雪を終えて帰宅、「多少の大雪には慣れている」はずの福井県嶺北の組合員は、翌6日の朝、道路・鉄道の全面マヒの状況に直面する地域で、これ以降、約10日間にわたって豪雪対応に追われることとなった。

7日には嶺北エリア全体でSS在庫が急速に落ち込んでいき、在庫切れとなるSSが出現、在庫が手薄になった多くのSSでは制限給油に踏み切ることとなった。

なぜこうした事態が生じてしまったのか。「ぜんせき」でも報じた通り、それは県内の2油槽所からの石油タンクローリー出荷が不可能となったことによる。

福井県と福井石協は2014年10月に災害時応援協定を締結している。支部単位での事業協組を含む市町村との協定も、09年の福井市を皮切りに小浜市、敦賀市、さらには大野市、勝山市、越前市、鯖江市、永平寺町と今回、難渋を極めた自治体とも締結されている。

同協定への対応力を高めるために、14年11月には県総合防災訓練に参加。地震による停電で勝山市の燃料供給が滞った、避難所の燃料不足が発生した、という設定で市内の2ヵ所の中核SSが緊急車両への優先給油を実施、油槽所から指定避難所へ燃料を配送する訓練を行った。これを契機に勝山市と協組によるいざ本番で、自治体の危機管理部門とのスムーズな連携が果たせなかった側面が残った。

過去の訓練の大勢は、地震や津波を想定した部分が大きかったが、ゲリラ豪雨を含む風水害、そして今回の空前の雪害から、我々石油は新たな知見を得た。

災害の種別による対応は、そもそも異なる部分が数多くあること、地方でのクルマ依存が著しく高いこと、さらには、自治体危機管理担当者が、そもそも県内石油出荷基地やローリー車を含む石油サプライチェーンの概要と機能への理解が不足しているリスクがあること。一番最後の部分の発見は誠に残念なことだが、これが現実にあることなのだ。

「最後の砦」への理解不足

原油コスト0・3円上昇

ガソリン陸上卸は軟化傾向

今週の卸価格に影響する中東産原油の円建て週間コストは前週比0・3円上昇した。先週前半の高値が週平均価格を引き上げた格好となった。米国EIA週報で原油在庫が増加したこともあり、足元は下落傾向。直近2日の東商取プラッツ・ドバイ原油は㌦建てで前日比1・3㌦安の60㌦、円建ては1円安の41・1円。

国内ガソリン陸上スポットは先週末に弱含みが鮮明化。「3月が各社の決算期で出荷枠を維持するため、月前半はやや投げ売り的な感じ」（商社筋）との見方もある。一方、系列仕切りは大手元売4社いずれも前週比1円値上げ。2日のTOCOMウインドウ・ガソリン陸上は前日比1・2円安の11・1円。

◇　◇

特約店筋によるとコスモは2日からの週決め仕切りを前週比で全油種1円値上げした。

2月ガソリン卸1.3円値下げ

出光

出光興産が1日発表した2月分の卸価格改定幅は、前月比でガソリンが1・3円、軽油とA重油が0・3円の各値下げ、灯油は0・2円の値上げとなった。

ガソリンの値下げは7ヵ月ぶり。

1月ガソリン内需1.6％減少

石油統計速報

資源エネルギー庁が2月28日発表した1月石油統計速報による2月ガソリン卸2.4円高119・9円

エネ庁

資源エネルギー庁が2月28日公表した1月の卸価格調査（消費税別）によると、全国平均の前月比でレギュラーは2・4円高の119・9円、軽油は2・6円高の65・6円、灯油は2・7円高の67・9円だった。

また、1月の全国平均インタンク価格は、軽油が2・5円高の102・3円、A重油は大口が2・6円高の68・8円、小口が2・3円高の76・3円となった。

1月ガソリン卸1.9円ダウン

資源エネルギー庁が2月28日公表した1月の卸価格調査（消費税別）によると、全国平均の前月比でレギュラーは1・9円高の119・9円、軽油は2・6円高の65・6円、灯油は2・7円高の67・9円だった。

また、1月の全国平均インタンク価格は、軽油が2・5円高の102・3円、A重油は大口が2・6円高の68・8円、小口が2・3円高の76・3円となった。

週仕切り指標のコスト変動と推計値（＊原油＝価格適用期間のFOB平均値）

（円／L）

適用期間	原油	ガソリン			灯油		軽油		A重油
土～金曜		指標	系列卸	TOCOM	指標	TOCOM	指標	TOCOM	指標
2／3週	▲2.02	▲0.7	▲1.0	▲2.7	0.0	▲2.3	▲0.1	0.0	▲0.0
4週	▲2.62	▲1.9	▲2.5	▲0.0	▲0.7	3.3	▲1.2	0.4	▲1.2
2018年2月（前月比）	▲2.91	▲0.8	▲0.9	▲3.8	1.3	▲0.7	0.2	0.5	0.6
3／1週	0.81	▲1.2	▲1.5	0.9	0.1	▲4.3	▲1.1	1.6	▲1.1
前週実勢値	42.27	111.7	109.3	109.9	64.1	61.2	59.3	62.0	57.6
前週標準仕切り推計	---	117.5	114.4	112.4	69.9	63.7	65.1	64.5	63.4
2週	0.33	0.1	1.0	▲1.4	▲0.2	▲1.4	▲0.0	0.0	▲0.1
当週実勢値予測	42.61	111.8	110.3	108.5	63.9	59.8	59.3	62.0	57.5
最近値	40.85	117.5	110.3	108.5	63.7	59.8	59.5	62.0	57.8

冬期の道路交通確保へ

大雪による〝支障〟抑制

国交省

国土交通省はこのほど、大雪による車両の立ち往生や通行止めの影響を最小限に抑える方策を議論する「冬期道路交通確保対策検討委員会」の初会合を開いた。

1～2月にかけての大雪で、北陸の国道8号線や首都高で発生した車の立ち往生によって交通がマヒしたことを受け、大雪への対応などを話し合った。4月に提言の中間とりまとめを行う予定。

次回以降の会合で、大雪でも道路交通を確保できるよう、事前の備えや発生時の対応、関係機関との情報共有・連携のあり方などを議論する。

委員からは「地方の建設業者は疲弊している。除雪体制の見直しが必要」との声も出た。

自販連新会長に小関氏

山形日産石油販売社長

日本自動車販売協会連合会の小関眞一新会長（山形日産自動車販売社長、山形日産石油販売社長・JXTG系）はこのほど開いた会見で（写真）、市場活性化に意欲をみせつつ、来年10月に予定される消費税増税を控えた「今年の税制改正要望が正念場」と強調した。

市場活性化に向けては「魅力的なクルマ作りと先進技術が必要。環境面・安全面では新車への代替サイクルを早めることが重要で、その機会を提供するのが我々の役目」とする一方、特に整備業の人材不足を指摘し、営業部門も含めて〝人としての魅力作り〟を重視した育成を指向、「働き甲斐・生き甲斐をどう伝えていくかがポイントになる」と自社方針を披露した。

EV普及については「世界的に電動化シフトが強まり、長期見通しは明るいが、短期は厳しい。高速代を安くするなど国の促進策がなければ、メーカーだけでは少し難しいと思う」、カーシェアに関しては「大都市と地方では状況が相当違う」との見方を示した。

松下副社長が代表取締役に

出光役員人事

▽代表取締役副社長、社長補佐（取締役副社長、技術部門担当）松下敬▽常務取締役、経営企画・広報・サステナビリティ戦略担当・資源部門管掌（同、経営企画・広報CSR担当・資源部門管掌）丹生谷晋▽上席執行役員、販売担当（上席執行役員、販売担当兼販売部長）荒井裕治▽執行役員、電材・アグリ・知財・研究担当（執行役員、高機能材料担当）中本肇（4月1日付）

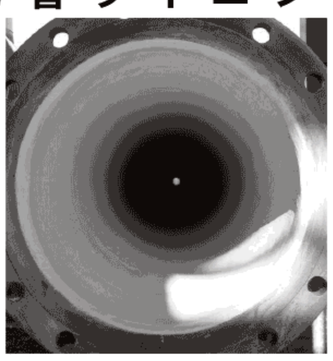
ポンプあいらんど

▼冬季五輪の平昌（ピョンチャン）大会が幕を閉じた。日本勢は金4、銀5、銅4と過去最高13個のメダルを獲得、大活躍に国中が沸いた。4年間けがや資金不足などに悩まされながら、ひたすら平昌を目指していた多くの選手の姿も大会を通じて知った。必死に頂点を目指すアスリートたちの姿に勇気と感動を与えられた17日間▼だが、それ以上に帰国後のひと言に心を打たれた。オホーツク海に面した北海道北見市常呂町に凱旋したカーリング女子は歓喜の会場で「正直、なにもない町にいても絶対夢はかなわないって思っていたけど、ここにいなかったら夢はかなわなかった」▼「子どもたちもいろんな夢があると思うけど場所は関係ない、大切な仲間や家族のいるこの町で夢はかなえられる」と嬉し涙をぬぐった。日本選手団主将で金メダルに輝いた小平奈緒選手は都内での会見で「目標の百花繚乱（りょうらん）が達成できた。たくさんの競技で（みんなが）きれいな花を咲かせてくれた」と全選手に感謝の言葉▼5位入賞者の父親は「メダルには届かなかったが娘はすごい。世界で5番目だよ」と顔をほころばせた。あちこちで見られた日本人の心の美しさ。経営苦を乗り越え暮らしを支え続けてくれるSSにも、地元住民の心の中から感謝のメダルが贈られているに違いない。

きょうの紙面
2面　新潟・終盤迎える灯油商戦
■DATAコーナー＝原油価格、石油製品先物情報
3面　関東版・拡大する価格差／中部版・雪害どう対処すべき
4面　トレンドファイル／元売決算

常時監視と常時管理

配管ライニング

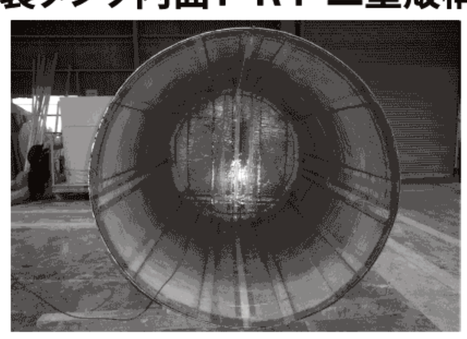


特許出願 2017-059265
実用新案 第3210606号

漏洩検知装置付き樹脂二重殻配管

特　許　第4421711号　特　許　第6120431号　特許出願 2014-176033　特許出願 2014-235598
特許出願 2015-115624　特許出願 2015-213877　特許出願 2016-029607　特許出願 2017-045796
実用新案 第3183085号　実用新案 第3195379号　実用新案 第3204958号　実用新案 第3209440号

鋼製タンク内面FRP二重殻構造



特　許　第3594183号　特　許　第6134128号　特許出願 2015-098922
特許出願 2016-029607　特許出願 2017-045796　実用新案 第3196696号
実用新案 第3199105号　実用新案 第3204958号　実用新案 第3209440号

環境づくりのトータルプランナー　株式会社サンフロイント
東京都文京区本郷1丁目20番3号　電話：03-3818-7868
E-mail：info@sanfreund.co.jp　Fax：03-3818-7846

新潟・終盤迎える灯油商戦

新潟県内の灯油商戦が終盤を迎えた。今冬は、新潟市や柏崎市などの海岸沿いで例年にないほど積雪状態が長引き、長岡市内は2月に中心部でも積雪量1㍍超の状況が続いた一方、豪雪地の十日町市や南魚沼市はほぼ例年並みの模様だ。

〝寒波特需〟地域で明暗

大渋滞を越え〝安心〟戸口へ

灯油宅配ニイガタ（小林宏一社長）の長岡配送センターによると、「1月半ば～2月半ばまで寒波が連続し、注文は1・5倍程度。ただ、除雪が追い付かないため、特に午前中を中心に道路渋滞が激しく、普段の2倍近く時間を要し、配送に支障が生じた。当社は2009年に事業を開始しているが、ここまで長期にわたり混乱したのは初めて」（丸山良和さん）。それでも「どうしても、きょう持ってきてほしいと依頼され、自身で夜10時ごろ配達した取引先もあった。顧客は〝安心して朝を迎えられる〟とほっとしていた」と振り返る。石油販売業者としての使命感で〝安心を届けた〟。

これに対し、積雪量2㍍超級の豪雪地である十日町市。「初雪は早く、昨年12月半ばには例年より早く雪下ろしする光景が見られたが、結局は平年並みの降り方。2月中旬に開催された雪まつりの後は屋根融雪のスイッチを切り、自然の雪解けを待つ世帯も増えるので、灯油需要の山場は過ぎた」（小林石油魚沼営業所の太田誠市所長）との見方だ。

同氏は「ホームタンク（90㍑）への配送は暖房利用で月1回程度、屋根・駐車場の融雪もあれば月3～4回程度になる。生活に欠かせない灯油を定期配送も含めて常に備えていることが大事で、満タン運動は重要」と強調する。

南魚沼市の灯油商戦も開幕は早かったが、「2月上旬に北陸豪雪があったが、その時はほとんど降らなかった。この数年の傾向として3月に大雪は降っていないので、今冬全体の積雪量はやや少なめとなりそう。通常、雪下ろしを4～5回やるのだが、今期は2～3回で済むのではないか。雪が少なければ確かに暮らしやすいが…」（塩沢石油の田村暁専務）とみている。

降雪量と積雪量は灯油商戦にとどまらず、除雪・投雪・排雪作業に関係する各種車両の軽油需要などにも大きく影響することから、シーズン終盤戦の動向が注目される。（新潟県中越エリア発）

1㍍超の積雪状態が続いた長岡市内では一時配送網も混乱したが、落ち着きを取り戻した（2月26日、灯油宅配ニイガタ長岡配送センターで）

仕切り変動に平静対応

原油動向分析し〝予測〟も

関東

仕切り値下げから値上げに転じた仕切り動向に「ある程度予測できた事態」と感じているようだ。

山梨県の業者は「原油動向をみれば仕切りが大きく振れるのは予測できた」という。千葉県の業者も「最近の仕切り改定は原油動向に準じている。ある意味納得できる変動幅だ」と話す。

仕切り値下げの時期に3～4円程度値下げしたSSは散見されたものの、「いまは月間の平均仕切り改定幅が重要」と話す業者もあり、仕切りが値上げに転じたことにも「予測していた」と冷静に反応している。

商社担当者は「これからも原油動向次第で大きな変動はある。それでも市場は安定して推移するのではないか」と予測している。

姫路市内で出現した130円割れのガソリン価格

姫路市場で130円割れ

卸下落幅超すPB軟化

兵庫

【姫路】兵庫県姫路市内のガソリン市場で、毎週発表する給油所小売価格調査（ガソリン）によると、兵庫県市場は昨年の11月下旬から概ね140円台だった。潮目が変わったのは年明け以降で、特に130円割れが出現しはじめた。量販PBSSが元売各社の仕切りよりも大幅な値下げに踏み切ったことで、量販店を中心に少しずつ価格を下げていく動きが散見されるようになり、ついに姫路市郊外では130円割れが出現した。

市内の特約店社長は「市街地でもPBで130円割れを出しているところがあるようだ。姫路以外にも広がっていく恐れがある」と指摘。3月1週目の元売各社仕切りはガソリンで1円程度の値上げだが、「いままでの下げ幅が大きいので、逆に130円割れは徐々に増えていくのではないか。地場業者ではとても出せない価格だ」と懸念する。

一方で、特約店社長は「元売各社の決算は好調だが、我々地場業者のガソリンマージンはあまり回復しておらず、業績はそれほど良くなっていない。それなのに平然と安い業転玉を出して、地場業者を追い詰めるようなことをやるのはおかしい」と疑問視している。

上川町と災害協定

旭川

【上川町＝北海道】旭川地方石協（吉国知識理事長）は先ごろ、上川町（佐藤芳治町長）と「災害時における石油類燃料の供給等に関する協定」を締結した。北海道内での地方石協と自治体との同協定の締結は、今年に入ってからは初めて。

協定書には、同石協組合員が供給能力を十分発揮できるよう、「分離・分割発注」を平時から配慮することを謳った「北石連モデル」を採用。同石協が管内自治体と災害時協定を結ぶのは旭川市、美瑛町に続き上川町が3例目となった。

佐藤町長㊥と植山光吉上川支部長㊧

同町役場で行われた協定書手交式には、上川支部長の植山光吉氏（植山モータース社長・JXTG系）が出席し、佐藤町長と協定書を交換した。

出光 直轄29事業所から8統括支店体制へ

出光興産は4月1日付で販売部の組織変更を行う。

現在の販売部直轄の29事業所体制から、北海道・東北・関東第一・関東第二・中部・関西・中四国・九州の8つの統括支店を新たに設置、統括支店管下に21販売課および8企画営業課を配置する。系列販売店SSのクルマ周りの需要を取り込む〝カーライフステーション〟作りと事業多角支援を強化していくのが狙い。

変更後の組織体制は次の通り（カッコ内は所在地）。

▽北海道支店＝企画営業課、販売一課、販売二課（札幌）▽東北支店＝企画営業課、販売一課、販売二課（仙台）▽関東第一支店＝企画営業課、販売一課、販売二課（名古屋）、販売三課（金沢）▽関西支店＝企画営業課、販売一課、販売二課、販売三課（大阪）▽中四国支店＝企画営業課、販売一課、販売二課（広島）、販売三課（高松）▽九州支店＝企画営業課、販売一課、販売二課（福岡）

出光人事

▽販売部リテール担当部長（販売部リテール担当部長兼建設担当マネジャー）小久保欣正▽同北海道支店統括支店長（同北海道エリア統括）福地一雄▽同東北支店統括支店長（同東北エリア統括兼東北第一販売支店長）吉川俊秀▽同関東第一支店統括支店長（同南関東エリア統括）今中剛▽同関東第二支店統括支店長（アポロリテイリング常務取締役兼企画部長）森垣裕一▽同中部支店統括支店長（販売部東海エリア統括）三浦秀樹▽同関西支店統括支店長（同関西エリア統括兼関西第一販売支店長）東敏郎▽同中四国支店統括支店長（同中四国エリア統括）増田司▽同九州支店統括支店長（同九州エリア統括）上野昌信（4月1日付）

▽サステナビリティ戦略室長兼企画課長（経営企画部統合準備室長）鈴木基弘▽総務部長（千葉事業所副所長）星野完▽販売部長（販売部企画担当部長）内川尚和▽新エネルギー部長（出光グリーンパワー社長兼プレミアムグリーンパワー社長）八田幹人▽電子材料部長（経営企画部経営戦略室長）吉田有三▽広報室長兼ブランド戦略担当（広報CSR室長兼ブランド戦略担当）児玉秀文▽アポロリテイリング代表取締役社長（iビジネスパートナーズ代表取締役社長）中倉邦明（4月1日付）

神奈川 『満タン運動』を継続

【横浜】神奈川石商・協（木所章理事長）はこのほど開いた理事会で、全石連や石油連盟など関係業界を挙げて展開している『満タン&灯油プラス1缶運動』のPR活動を継続していく方針を固めた。

冒頭のあいさつで木所理事長（写真）は「人材確保が非常に重要になっているが、そのためには公正な経営環境を構築し、再投資できるマージンをきちんと確保し、経営体質を強くして、従業員の待遇改善を行うことが必要。原油価格は不安定だが、元売決算は空前の利益を上げており、我々販売業界もしっかりした経営を実現したい」と訴えた。

また北陸豪雪については、「激しい寒波の影響で車1500台が立ち往生した。改めて満タン運動の重要性が再認識された」などと述べ、引き続き満タン運動への取り組みを呼びかけた。

会合では元売の発券店頭付けカードについての意見交換も行い、旧EMG系販売業者からは「現在の手数料水準は低く、手数料の値上げを求めてほしい」などの要望が出された。

熊本県協トラ 『満タン』の重要性言及

「熊本地震記録誌」を出版

『熊本地震』（2016年4月14、16日）の教訓を伝えよう―と熊本県トラック協会（住永豊武会長）は先ごろ「熊本地震記録誌」を出版した。輸送ネットワークが県民の暮らしを守った経過とともに、燃料確保の重要性や『満タン』を強調。記録誌は、熊本地震から2年を迎える中で同協会が災害時にトラック輸送が果たした役割や教訓、また関係者の〝証言〟を後世に残すために編集し、関係者に配布した。

体験者の回顧の中で、総務課職員は「仕事を休めないと思ってSSでも追随する動きがみられ、周辺の地場業者からは、安値競争や販売価格の格差拡大に困惑する声が広がっている。需要減が続く中、採算意識が問われそうだ。

資源エネルギー庁がまとめた「市街地でもPBで130円割れを出していたことで、一部系列SSでも追随する動きがみられ、周辺の地場業者からは、安値競争や販売価格の格差拡大に困惑する声が広がっている。需要減が続く中、採算意識が問われそうだ。

資源エネルギー庁が『熊本地震』（2016年4月14、16日）の教訓を伝えようと呼びかけている。

危機感がなかった私はガソリンを入れなきゃと思いつつも先延ばしにしていた結果、時過ぎだったのに10台ほどの列ができていた。身動きが取れない状態になっていたと反省。

別の職員は「車中泊をするためにもガソリンが必要だったのでSSに行ったが、午前6時過ぎだったのに10台ほどの列ができていた」と反省。

職場の上司が知り合いのSSに手配してくれたり、近所の人がどのSSが営業しているかを教えてくれたりして、やっと職場に出勤することができた。「車はもしもの時に避難所にもなるし、スマートフォンなどの充電もできる。こまめに給油すべきだ」と提言した。

昭シェル人事

▽理事関東支店長兼ライジングサン出向・関東（関東支店長兼ライジングサン出向・関東）板倉克紀▽同近畿支店長兼ライジングサン出向・近畿（販売部書室長）稲垣富生▽R&D戦略部長兼企画課長（研究開発部副部長兼品質管理課長）岡部伸宏

▽シェルブリカンツジャパン出向・厚木（理事中央研究所兼第1研究チームリーダー兼総務管理グループサブリーダー兼シェルブリカンツジャパン出向・厚木）長富悦史▽昭石化工出向（理事近畿支店長兼ライジングサン出向・近畿）前川泰鑑▽昭和四日市石油出向（リテール販売部長）竹田正俊▽クレコ出向（総務部長）櫻井日出男（4月1日付）

▽販売部リテール担当部長兼建設担当マネジャー）小久保欣正▽同北海道支店統括支店長（同北海道エリア統括）福地一雄▽同東北支店統括支店長（同東北エリア統括兼東北第一販売支店長）吉川俊秀▽同関東第一支店統括支店長（同南関東エリア統括）今中剛▽同関東第二支店統括支店長（アポロリテイリング常務取締役兼企画部長）森垣裕一▽同中部支店統括支店長（販売部東海エリア統括）三浦秀樹▽同関西支店統括支店長（同関西エリア統括兼関西第一販売支店長）東敏郎▽同中四国支店統括支店長（同中四国エリア統括）増田司▽同九州支店統括支店長（同九州エリア統括）上野昌信（4月1日付）

▽サステナビリティ戦略室長兼企画課長（経営企画部統合準備室長）鈴木基弘▽総務部長（千葉事業所副所長）星野完▽販売部長（販売部企画担当部長）内川尚和▽新エネルギー部長（出光グリーンパワー社長兼プレミアムグリーンパワー社長）八田幹人▽電子材料部長（経営企画部経営戦略室長）吉田有三▽広報室長兼ブランド戦略担当（広報CSR室長兼ブランド戦略担当）児玉秀文▽アポロリテイリング代表取締役社長（iビジネスパートナーズ代表取締役社長）中倉邦明（4月1日付）

DATAコーナー

■石油先物市場・3／2

△値上げ、▲値下げ◇ストップ高、◆ストップ安、単位：￥／KL

東京商品取引所（京浜海上：1枚＝50KL）

16：30現在	前日比
（前日出来高1,274枚）	
54,710	▲760
55,100	▲1,000
55,440	▲980
55,200	▲1,090
55,050	▲1,030
54,510	▲1,030
（前日出来高893枚）	
59,790	▲830
56,490	▲930
55,100	▲860
54,690	▲970
54,400	▲900
54,800	▲970
（前日出来高-枚）	
62,000	0
62,000	0
62,000	0
62,000	0
62,000	0
62,000	0

限月
ガソリン
④限月
⑤限月
⑥限月
⑦限月
⑧限月
⑨限月
灯油
④限月
⑤限月
⑥限月
⑦限月
⑧限月
⑨限月
軽油
④限月
⑤限月
⑥限月
⑦限月
⑧限月
⑨限月

中京石油市場（伊勢湾油槽所：1枚＝20KL）

16：30現在	前日比
（前日出来高66枚）	
56,000	▲1,000
56,400	▲200
56,700	▲1,300
56,400	▲1,600
56,200	▲800
56,000	▲1,000
（前日出来高-枚）	
60,000	0
59,490	0
57,500	0
56,000	0
56,000	0
56,000	0

原油指標

		前日比
国内指標	$／B	61.64（▲1.65）
	￥／KL	41,594（▲1,289）
WTI	$／B	60.99（▲0.65）
	￥／KL	41,156（▲613）

今週の指針

3月5日～11日　強運日＝6、10　吉方位＝南西、東

運命アドバイザー　北 秀一

1月生 運気まずまずで好機もある。自信持って行動せよ。愛情運は普通。

2月生 情勢明るくチャンスもある。堅実な行動して結果吉。金運も良好。

3月生 運気安定して見通し明るい。成り行きに任せプラス。愛情運強い。

4月生 情勢が不安定で苦労しよう。堅実な行動を心がけよ。金銭運弱い。

5月生 好不調の波あり安定しない。現状では軽率な行動禁物。愛情弱い。

6月生 運気不安定で苦労しよう。用心して行動すること。金銭面も弱い。

7月生 情勢安定し好機もある。自信を持って行動し結果吉。愛情運強い。

8月生 運気まずまずで見通し明るい。あせらず冷静に行動だ。金運良好。

9月生 情勢不安定で苦労しよう。冷静な行動を心がけよ。愛情運は普通。

10月生 運気安定して見通し明るい。あせらず冷静に行動だ。金銭運有望。

11月生 情勢不安定で落ち着かない。冷静な行動を心がけよ。愛情運弱い。

12月生 運気まずまずも苦労しよう。堅実な行動をしよう。金銭運は弱い。

月生早見表

1月生＝1月5日～2月3日まで
2月生＝2月4日～3月4日まで
3月生＝3月5日～4月4日まで
4月生＝4月5日～5月4日まで
5月生＝5月5日～6月4日まで
6月生＝6月5日～7月6日まで
7月生＝7月7日～8月6日まで
8月生＝8月7日～9月6日まで
9月生＝9月7日～10月7日まで
10月生＝10月8日～11月6日まで
11月生＝11月7日～12月6日まで
12月生＝12月7日～1月4日まで

明日への技術と信頼のサービス
TATSUNO

TATSUNO Challenge
100年の時を刻む歴史と経験、技術。そして次世代ニーズを融合し、未来を創ります。
一歩先行く「環境づくり」にチャレンジ。
タツノはこれからも、環境保全、給油の安全性、経済性への貢献を通じて、
より良きパートナーとなるために、さらなる努力を重ねてまいります。
新製品
L100R　TOWER-NX D70S　SUNNY-NX D70S
ベーパー液化回収装置
TATSUNO
株式会社タツノ　本社／〒108-8520 東京都港区三田三丁目2番6号　TEL 050-9000-0567
http://www.tatsuno.co.jp/

関東

関東支局（千代田区永田町2-17-14 石油会館）
03（3593）5757

仕切り上げから一転下落 拡大する価格差

原油動向の「読み」が焦点

関東市場

大幅仕切り値上げが影響を与えた関東地方。PB最安値で126円、系列では133円程度まで散見される中、SSは販売戦略の転換に迫られている。仕切り値上げ局面が続いた1月初旬から1ヵ月あまりで一気に値下がり局面に転じたことで、業者は元売の仕切り政策が原油動向に直結していることを痛感し、売価決定に温度差が生じている。

安定市場ではセルフガソリン価格が143円中心、一方、激戦地では133円のセルフガソリン価格が横行する関東石油製品市場。同一地域での価格差が1週間で7円にもなった地域も確認されている。仕切りが値下がりしたことについては「良かった」と肯定的な声が多いが、価格差が広がる現実には「そこまで仕切りは下がっていない」と感じる業者が増えている。

138円のガソリン価格を表示し採算姿勢を堅持するセルフSS（新潟市内）

ここまで格差がついた理由を業者は「原油動向に準じた仕切り改定が定着したことが大きい。原油動向が不安定さを増していることでいま値下げへの思惑が異なる」と明かす。大幅仕切り値下げから大幅仕切り値上げへ転じる可能性が高く、様子見をする業者と即、価格見直しを行う業者に分かれたことが要因とみている。「本来なら仕切り改定を価格に即反映させるのが筋だが、これまでコスト未転嫁に苦しんだ業者や、決算期を控えて収益の安定を考える業者は一定マージンは確保したい。逆に拡販姿勢を強める業者は、仕切り値下げ局面を好機と捉えている」という。

さらに今後の市場動向についても、「仕切りの連続値下げを読む業者は仕切り値下げに先取りして大幅値下げをするし、仕切りがどうなるかわからないと感じる業者はさらに慎重な仕切り対応をする」と指摘したうえで、今後も価格差は拡大すると予測している。

クレカのIC化対応で意見交換

神奈川・高座支部

神奈川高座支部（遠藤正道支部長）はこのほど執行部会を開催し、来年度総会日程を決めるとともに、クレジットカードのIC化対応について意見交換した。

会合の中で遠藤支部長（写真）は組合員SSの新規加入促進の必要性を訴えた。

災害時研修に約20人が参加

山梨

模擬訓練で混乱回避

山梨石商（西川一也理事長）はこのほど、甲府市内で災害時対応研修会（写真）を開催し、県内のSS経営者、スタッフら約20人が参加した。講演のほか、災害時シミュレーション訓練に臨んだ。

講師が岩手県の水害実態を報告。大雨災害の自衛策として「可搬式緊急用発電機などは、高い位置または洪水リスクが低いSS・場所に保管すべき」と指摘した。

講演の後、グループに分かれ、災害時の店頭混乱回避シミュレーション訓練を実施した。「大きな余震が襲いSS隣接建物で火災が発生」といった条件を設定。SSの図面ボードを使い従業員や一般の車、通行人のマグネットを動かし、対応をグループで考え発表した。

発券店値付けカード手数料に不満の声

再投資可能な水準へ

神奈川

元売発券店値付けカードの手数料について値上げを求める声が広がっている。神奈川県でも大手法人客の多い川崎、横浜の両市を中心に「現在のガソリン7円、軽油5円の手数料は安過ぎる。とても再投資可能な水準とはいえない」（横浜市SS）などとの声が上がる。

特に昨年以降、元売の精製マージンが大きく改善する中で、元売が発券店値付けカードの手数料を従来通りに据え置いていることについての不満が高まっている。

「旧EMG系のガソリン手数料はこれまで5円。これは7円に改定されると聞いているが、この機会に抜本的に見直してほしい」や、「本来10円超のマージン確保ができていた法人客が発券店カードに移行すると、わずか7円の手数料になってしまう。発券カード客はフルサービスSSを見つけて給油するともいわれ、量から質への経営転換に全く逆行している」（川崎市SS）などの指摘も出てきている。

「脈は生まれる場所」展を開催

茨城・関彰商事

関彰商事（筑西市、つくば市、関正樹社長・JXTG系）は、筑波大学芸術系の連携芸術支援事業として「スタジオ・S with T」を実施しているが、今回、同大学芸術学群在籍の嘉春佳氏の作品展「脈は生まれる場所（ところ）」展を開催している。展示会では編むことで立体感を出した布でパネル全面を覆った半立体作品や、100着の古着を使ったインスタレーション作品などが展示され、編みの造形によって創り出される嘉氏の世界を紹介している。展示会の詳細は以下の通り。

▽会期＝3月9日まで▽場所＝関彰商事つくば本社隣接地「スタジオ・S」▽開館時間＝午前11時～午後5時▽入場料＝無料

新規ビジネス展開 課題は「人材難」

業界全体での取り組み訴え

車販ビジネスへの関心が高まる関東地方のSSだが、ここにきて先行きへの不安も増してきている。不安要素は「人材不足」で、技術や知識を有する社員の確保が急務となっている。

千葉県の1SS事業者は車販ビジネスを積極的に展開しているが、「事業拡大の最大の困難は人材」と言い切る。これまでSSでいることを予定している。員の慢性的な人材難が大きな障害」という。

人材を確保するためには異業種との競合は全体で人材問題に取り組んでほしい」と訴えている。

だが、「人材を募集してもほとんど反響がなく入りながら、人材難でビジネス展開が阻まれることへの危機感は強く、「我々のこれからの作業と並行し継続してきた車販ビジネスを、拡大するために専属の従業員を配置する覚悟していたが、その事前段階で「技術系社

中部

中部支局（名古屋市中区正木3-24-10 愛知県石油会館）
052（321）6001

石川 事業計画へ雪害対策も

石川石商・協（吉岡英一郎理事長）は、5月の通常総会に上程する2018年度事業計画に、豪雪への備えを強化する活動を盛り込むため具体的な内容の検討に着手した。

2月5日からの予想を超えた豪雪で、燃料販売に大きな被害を受けたばかりか、災害協定を結んでいる県、市など行政側との情報混乱で組合は、先ごろ開いた理事会で被害実態を検証。吉岡理事長が今後の対応に強い決意を表明するなど、雪害問題を重視していく方針を固めていた。（一部既報）

このため新年度事業計画にも雪害時の対策を盛り込むための作業に着手していくことにした。今後、最大被害を受けた福井石商にも相談し、雪害の具体的活動計画について早急にまとめていく。

雪害どう対処すべき

先月、北陸地方を襲った豪雪では、除雪作業の遅れで道路が滞り、ローリーの未配・遅配によるSSの休業、またそれに伴う減販など様々な弊害をもたらした。今回の事態を踏まえ各石商では、雪害における問題点の抽出や対策の必要性を確認、検討に乗り出す組合も出てきた。

富山 配送効率化、労務問題とも関係

今回の北陸豪雪は福井、石川両県だけでなく富山県のSSにも大打撃を与えた。富山石商・協（島竜彦理事長＝写真）はこのほど開いた役員会でこの冬、断続的に降り続いた大雪でガソリン、軽油、灯油の燃料油だけでなく、洗車など油外販売まで大きな影響を受けた冬期商戦であったと総括。雪害対策も含め、経営改善へ向けた取り組みの必要性を強調した。

島理事長は「1月中旬からの大雪でSS業界は燃料の入荷がままならず、販売数量制限や営業短縮、一時休止など大変なダメージを受けた。元売も太平洋側からローリーで急送する努力はしてくれたが、未配・遅配が続き商売への打撃はかなり大きなものとなった」と振り返った。

さらにその原因として、「大雪続きだったという天候の影響だけでなく、働き方改革に伴うローリー運転手の労働時間減少とローリー自体の減車問題があるローリー台数はピーク時の3にまで減車しており、こうした点も踏まえて仕入れ先と今後、雪害時の対策を協議していかなくてはならない」と指摘した。

また、記録的な大雪に伴い被った2月の販売不振のダメージを少しでも軽減し、次世代に向けて再投資可能な利益を確保できるよう、経営改善の必要性を強調した。

石川のミタニ5SSも仕切価格の上昇に伴って地域の平均に近い販売価格で店頭表示していたが、2月に入り138円から徐々に値下げした。ガソリン1ﾘｯﾄﾙ県平均145円だった2月中旬には132円、19日に130円、さらに21日には129円と引き下げた。

このため地場業者からは、「従業員の待遇改善と再投資できる収益を目指して経営努力している大事な時に、平均より16円も安く販売し一人勝ちで近隣店を廃業に追い込むような手法は、独禁法違反の不当廉売ではないか。福井の同社店舗より10円以上も安いだけでなく、価格が複雑な多重看板の表示も問題だ」との声が高まり、不当廉売で公取委への申告も辞さない構えを見せている。

石川 ミタニ看板表示に周辺から批判の声

石川県で5SSを展開する員外のミタニ（本社・福井市）の店頭販売価格に地場業者から批判の声が高まっている。ミタニ（出光系）は北陸だけでなく東日本を中心に東北から関西まで93ヵ所のSSを運営する大手。北陸ではSSを福井26ヵ所、石川5ヵ所、富山3ヵ所で営業。福井で約5年前に不当廉売で公取委から警告処分を受けたりしたが、その後は近隣店舗が「激安過ぎる」などと指摘することはあったが大きなトラブルはなかった。

18年度総会開催 概要など審議

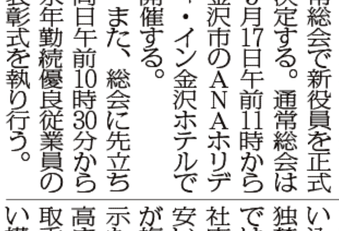
富山

富山石商・協（島竜彦理事長）はこのほど開いた役員会で、今年5月で任期満了となる組合役員の改選手続きと2018年度通常総会日程などの審議案を全会一致で承認した。役員改選については、定款により理事定数を25人以上30人以内、監事2～3人とし、3月末までに支部ごとに候補者を推選、総務委員会、役員会を経て通常総会で新役員を正式決定する。通常総会は5月17日午後2時から県石油会館で開催する。

また、総会に合わせて毎年行っている勤続10年以上、または20年以上の永年勤続優良従業員表彰についても、該当する従業員を4月6日までに所定の手続きで組合に推薦するよう事務局から通知された。

金沢で5月17日 通常総会開催

石川



石川石商・協（吉岡英一郎理事長）は、先ごろ開いた理事会（写真）で今年5月で任期満了となる組合役員の改選手続きと通常総会の日程を決めた。

役員改選については、現状の理事数39人、監事3人を定数とし、支部推薦の候補者を3月中旬予定の選考委員会・総務委員会で選任、4月の理事会を経て通常総会で新役員を正式決定する。通常総会は5月17日午前11時から金沢市のANAホリディ・イン金沢ホテルで開催する。

また、総会に先立ち同日午前10時30分から永年勤続優良従業員の表彰式を執り行う。

また富山市で25㌢積雪

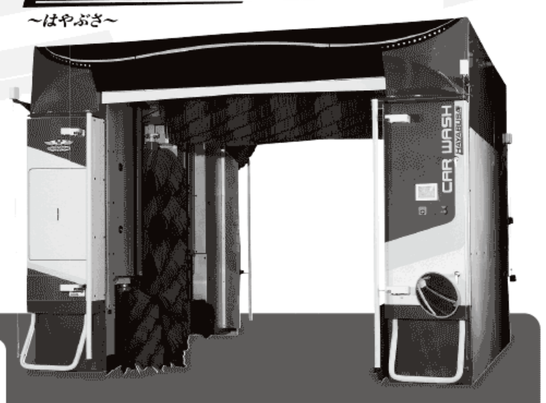
雪はもうたくさん…

北陸地方に降る今冬の大雪はいつまで続くのか――。

主要道路の車道からようやく雪の消えた先月22日未明、富山県の一部平野部を〝ゲリラ雪〟が襲い富山市内で25㌢、富山空港26㌢の積雪となった。この突然の大雪に同市内のSSは朝から除雪作業に追われた。

国道41号に面したSSでは従業員が「もういい加減にしてほしい」と汗だくで天を仰いでいた。

ゲリラ雪を懸命に除雪して営業するSS（2月22日、富山市内で）

驚異の65秒
FK-2 HYPER施工時間
※速度設定:最速
余裕の処理能力がドライバーを満足させる!
今、セルフ洗車の歴史が動く!
1WAYコーティング型 ドライブスルー洗車機 ～隼～
1分の壁を切る高品質スピード洗車
HAYABUSA
～はやぶさ～

コース別動作比較
ウォッシュコース シャンプー コース
セルフ洗車機 1.5仕様 最速設定 約1分35秒
旧1WAY洗車機 0.5仕様 最速設定 約1分35秒
HAYABUSA 0.5仕様 最速設定 約59秒
コーティングコースも時間を短縮
ベースコーティング (FK-2/FK-2 HYPER)
セルフ洗車機 1.5仕様 標準速度 約3分50秒
旧1WAY洗車機 1.5仕様 標準速度 約3分50秒
HAYABUSA 0.5仕様 標準速度 約2分35秒
トップコーティング (PRISM/PRISM GLASS)
セルフ洗車機 2.5仕様 標準速度 約5分20秒
旧1WAY洗車機 2.5仕様 標準速度 約5分40秒
HAYABUSA 1.5仕様 標準速度 約4分05秒
洗車工程比較イメージ
一般的なセルフ/1WAY洗車機
高圧ジェット / 泡 / FK-2 HYPER
高圧ジェット+泡 / FK-2 HYPER
・処理台数を上げる
・さらにオプション追加し洗いを徹底強化する。
短縮した時間を利用
HAYABUSA
HAYABUSAは基本コースの時間が短縮したうえに、オプション工程も短縮する事が可能となり、大幅な時間短縮ができるようになりました。
スピードもクオリティ
これまでの1WAY機では、スピード性は単なる処理能力というメリットしかありませんでした。「隼」はそのスピードを洗車のクオリティを高める方向にシフトし、開発技術を集中させ全てのコースでハイクオリティな洗車を実現しました。仕上がりを求める方にも、短時間での洗車を求める方にも対応したドライバー満足度を勝ち取る洗車機です。
Beauty ビユーテー株式会社
■本社 名古屋市港区木場町2番地
TEL 052-692-2101（大代表）
http://www.beauty.gr.jp
ISO14001 ビユーテー本社事業所は環境管理に関する国際標準規格 ISO14001 の認証を取得しています。
ISO9001 洗車機製造部門タケウチテクノは品質管理に関する国際規格 ISO9001 の認証を取得しています。
E&I Ecology & Innovation
■Network of the Beauty
北海道支店 仙台支店 上信越支店 埼玉支店 東京支店 千葉支店
東海支店 北陸支店 大阪支店 広島支店 福岡支店 南九州支店

トレンドファイル

エンパイヤ自動車・EMCフェア2018
61社出展、1300人が来場

自動車部品・用品の卸売り大手であるエンパイヤ自動車はこのほど2日間にわたり、東京流通センター第一展示場で、恒例の自動車関連機器・製品展示会「EMCフェア2018」を開催した。今年最初の開催。61社がブースを出展する一方、570社から1300人を超える関係者が来場し、会場は終日にぎわった。

今回は「MOVE ON～進んでいく。歩み続ける」がメインテーマ。次世代自動車の普及、自動運転機能搭載車両の登場などにより常に変化するアフターマーケット環境の中で、大きく進化している車両構造に対するサービスと、まだまだ保有台数の多い従来型車両に対するサービスについて、仕入れ先と連携して得意先への提案を行った。

展示会では例年同様、マーケットリサーチコーナーとメンテナンスコーナーを設置。マーケットリサーチコーナーでは、女性を中心とした車への関心度が低い層に対する「安心」「安全」「快適」「便利」をキーワードとした潜在需要の掘り起こしを提案。メンテナンスコーナーでは、自動車の構造変化が加速する中、車両整備に必要な消耗部品やツール、ピット商材・ビジネス提案をカテゴリーごとに分類し、旬の商品を展示した。

ＳＳビジネス見本市の常連でもあるエムケー精工のブース

いまや整備には欠かせないツールとなった各種車両診断機

重要な商材として展示の一角を占める洗車関連のブース

終日、多くの来場者でにぎわったEMCフェア2018

今回は「給油来店客は46%が女性ドライバーで、60歳超の高齢者も36%を占める。HVと軽自動車の保有率が高まっており、この傾向は今後も続くだろう」と説明。

その上で「今年の当社方針は2つ。1つ目は商品ラインアップの拡充と販売手法の見直しである。女性客を意識した除菌・抗菌・消臭などを中心とした車内快適空間の提案は良い手応えがあった。従来とは異なる視点での販売手法を推進、シェル車検のリニューアルやシェルリペアジュニア、さらにアマゾンと提携したサービスなども新たに提案する。2つ目は教育・訓練の徹底を継続すること。安心して愛車を任せてもらえる技術力を持つスタッフの育成を最重点に訓練を行う。増加するHVや軽自動車やスキャンツール研修などを積極的に行う」などの方針を掲げた。

講演会では、第1部で日産自動車取締役・産業革新機構代表取締役会長（CEO）の志賀俊之氏が『未来のモビリティ社会を考える』、第2部でアビリティトレーニング代表取締役の木下晴弘氏が『動かない人が動きたくなる摩法のリーダーシップ』と題して興味深い講演をそれぞれ行った。

「もろコミ」web刷新
利便性さらにアップ！　カーコンビニ倶楽部

自動車軽鈑金、車検など自動車向けトータルアフターサービスを提供するカーコンビニ倶楽部はこのほど、カーコンカーリース「もろコミ」専用のwebサイトをリニューアルした。今回のリニューアルでは、「料金」や「リース内容」、「店舗場所」「リース申し込みの流れ」、「審査」、「取り扱い車種」など、「もろコミ」に届いた消費者からの問い合わせ内容などを参考にして、より利便性を高めたページ構成とした。さらに、使いやすさを求めたデザインに改善するとともに、「もろコミ」閲覧者の約30%を占める女性を意識してパステル色を基調とするなど、さらなる閲覧数や審査申込数の拡大を目指している。

SS関連業界

カーシェア 人気は輸入車
DeNA

ディー・エヌ・エー（DeNA）は、個人間カーシェアリングサービス「エニカ」でシェア回数が多い「人気車種ランキング」の2017年版を公開した。年間首位はシェア数が516回に上ったBMW「3シリーズ」だった。2位と3位にもポルシェ「カイエン」、BMW「Z4」がそれぞれランキング入りし、輸入車が上位を独占。上位10車種中でも6車種が輸入車で占めており、個人間カーシェアでの人気を示す結果となった。

ランキングは17年に東京23区内で受け渡しされたシェア回数を車種別に集計した。複数台がシェアされている車種は回数を合算している。

同社は15年9月にエニカを開始した。18年1月時点で、登録会員数が11万人、登録台数は650車種以上4千台となっている。

カーライフ

今年は教育と商品ライン重点
ライジングサン

ライジングサンはこのほど2018年新春講演会および17年CBグランプリ表彰式を開催した。冒頭あいさつに立った奥田直雅社長は「今年度折り返しとなった今回の四半期決算は元売再編以降の石油製品市場を色濃く表すものとなった。前四半期で大幅に黒字化に転じたものが、さらに安定感が強まったことで実力を判断するものとなった。

表1は各社の連結業績推移だが、売上げではJXTGが前年同期比を13%上回り、出光いずれも前年同期で13%を超える増益。表2のセグメント別事業推移では、エネルギー部門はJXTGエネが前年同期を20%上回り、出光は逆に26%の減益となった。コスモも20%以上前年に比べ経常利益を減らしたことから、在庫評価が各社に影響したことが予測される。

国内石油製品需要は自動車の低燃費化や電力への燃料転換が進んだことに加え、減少傾向を示したが、各社とも余剰感を排したこと、で需給は底堅く推移した。

注目されるのは表3のガソリン販売状況であり、この四半期のガソリン販売は、前年同期比でJXTGがマイナス6%程度、出光もマイナス6%、コスモほぼ横ばい、昭シェルは3%の販売増となり、各社で増減が分かれた。

ここにきて乱高下を続ける原油価格については、為替の動向に期間中の原油価格を1㌬55～60㌦平均に上方修正し、為替も若干の円高に修正、1㌦あたり110～2円程度と見通している。

通期の業績予想は売上げでJXTGが10兆2千億円で、当初から2千億円の上方修正、出光も1500億円上方修正し3兆6500億円、コスモは5800億円上方修正し2兆5580億円、昭シェルが2兆1千億円を見込み1千億円の上方修正。

JXTGエネが仕切り体系を見直した7月以降、SSからの利益が安定基調を示し、今年度第3四半期の決算は総じて元売各社の好調な内容となり、経営基盤の安定感が増して推移したと言える。

17年CBグランプリ表彰

＜年間総合ポイント＞
【セルフ洗車有】＝中央シェル石油販売・横浜ベース（同）▽シェルリペア＝ヤマヒロ・プラザ松庵（同）▽快適空間＝吉字屋本店・セルフASK甲府南（関東）▽らく楽リース＝エザキ・セルフR41楠（中部）▽バッテリー＝ペトロスター関西・セルフ桜井（近畿）▽洗車【セルフ洗車なし】＝大野石油店・八丁堀（中国）▽CB収益【前年比】＝山陽石油・住吉町（中国）▽キーパー＝イデックスリテール熊本・セルフ山鹿（九州）▽ルブ竹松（同）▽洗車

＜項目別年間総合ポイント＞
▽シェルルブフィルター＝茂田石油・住吉（北海道）▽フォロザ＝佐藤燃料・須賀川丹園（東北）▽シェルXワイパー＝七洋・カーパレットセルフ類家（同）▽シェル車検＝イハシエネルギー・マイセル桜田（首都圏）▽タイヤ＝神奈川石油・セルフ山鹿（九州）▽トロスター関西・セルフ桜井（近畿）▽和（近畿）▽セルフサービス＝中央シェル石油販売・横浜ベース（首都圏）

元売決算

元売4社決算・業績ハイライト

JXTGホールディングス、出光興産、コスモエネルギーホールディングスの2017年度第3四半期、昭和シェル石油の17年第4四半期（10～12月）決算がまとまった。各社とも石油製品マージンの改善を背景に、前年を10%以上上回る大幅な増益となり、黒字化が前期に続き進んだ。一方でガソリン販売量は減販が続き、販売量が伸びない中、採算重視の経営姿勢が加速する内容となった。

10～12月期 各社とも大幅増益
採算重視の経営姿勢加速

表1．連結業績推移　（単位：億円）

		2017年度	2016年度	17年度/16年度比
売上高	JXTGHD	27,098	23,958	113.1%
	出光	9,670	8,346	115.9%
	コスモエネHD	6,823	6,018	113.4%
	昭シェル	5,980	4,623	129.3%
営業利益	JXTGHD	2,161	1,887	114.5%
	出光	703	512	137.3%
	コスモエネHD	457	398	114.8%
	昭シェル	379	191	198.4%

表2．セグメント別事業推移　（単位：億円）

		2017年度	2016年度	17年度/16年度比
売上	JXTGHD・エネルギー事業	22,960	20,297	113.1%
	出光・石油製品	9,670	8,346	115.9%
	コスモエネHD・石油事業	5,646	5,036	112.1%
	昭シェル・石油事業	5,532	4,286	129.1%
セグメント利益	JXTGHD・エネルギー事業	2,758	1,459	189.0%
	石油（除・在庫影響）	640	533	120.1%
	出光・石油製品	462	367	125.9%
	除・在庫影響	168	229	73.4%
	コスモエネHD・石油事業	299	215	139.1%
	除・在庫影響	99	125	79.2%
	昭シェル・石油事業	392	220	178.2%
	除・在庫影響	220	109	201.8%

注）四捨五入の関係上、端数が合わないことがある

表3．ガソリン販売状況　（単位：万㌔ℓ）

	2017年度	2016年度	17年度/16年度比
JXTGHD・エネルギー事業	688	734	93.7%
出光・石油製品	200	212	94.2%
コスモエネHD・石油事業	143	144	99.7%
昭シェル・石油事業	227	219	103.6%

表4．原油価格の実績と見通し

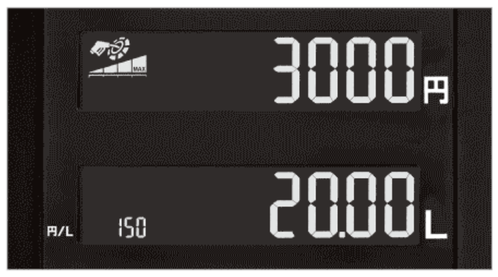
	通期見通し		
	原油（$/B）	為替（円/$）	円建原油（円/㌔ℓ）
JXTGHD	60.0	110.0	41,514
出光	54.9	112.0	38,676
コスモエネHD	56.1	111.3	39,274
昭シェル	60.0	110.0	41,514
4社平均	57.8	110.8	40,245

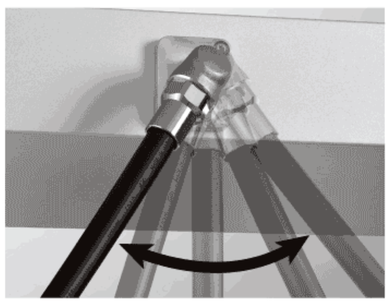
注1）通期見通しはJXTG、出光、コスモは2018年3月期、昭シは17年12月期を指す
注2）決算報告で出光原油価格はドバイとブレントを併記しているが、算出はドバイのみ使用

表5．連結業績予想　（単位：億円）

	売上高	営業利益	経常利益	純利益
JXTGHD	102,000	4,800	-	3,000
出光	36,500	2,060	2,300	1,600
コスモエネHD	25,580	1,150	1,200	700
昭シェル	21,000	770	770	510

TMC TOMINAGA MFG CO
“燃料供給システム”の明日に取組む
新発売
ALUNA MULTI アルーナマルチ

NEW 大型で見やすい高輝度LCD表示器
業界最上級モデルのVA方式高輝度大型LCD表示器を搭載。
ブラック素地に白文字を浮き上がらせ、鮮やかなコントラストと大型文字により昼夜を問わず、どの角度からでもハッキリと見やすい表示を実現しました。


▶給油シグナル
ノズルや給油の状態をお知らせする機能です。
ノズルを取る　ノズルマーク点灯
給油中　給油マーク点滅
▶流速インジケーター
給油中の流速を「4分割」にしたグラフで表示。
流速が一目でわかる安心マークです。
NEW スムーズな給油操作を実現できる スイングデリベリベンド
計量機とホースのジョイント部に「回転式のデリベリベンド」を装着。ホースの有効リーチが大幅にアップし、取り回しもスムーズになります。

安心の“ダブルチェック”水検知機能
AQUATECT® NEW
誤って油中に混入した水を、車両に給油してしまうトラブルを未然に防止。
計量機内部に、2つの高精度水検知センサーを装備し、水を検知すれば強制的に給油をストップします。
http://www.kyoto-tmc.co.jp
株式会社富永製作所　〒604-8493 京都市中京区西ノ京南両町88　営業本部 ☎(075)801-8139代表 FAX(075)801-1373
仙台営業所 ☎(022)287-9311 FAX(022)287-9312
東京支店 ☎(03)3484-5051 FAX(03)3484-3944
名古屋支店 ☎(052)414-1181 FAX(052)414-1180
関西支店 ☎(0774)41-3443 FAX(0774)41-3444
広島支店 ☎(082)283-2428 FAX(082)283-2606
高松支店 ☎(087)843-7130 FAX(087)843-9139
福岡支店 ☎(092)651-3168 FAX(092)651-3118
事業所・代理店／全国主要39都市